

2017年3月期 上半期連結業績概要

執行役員
山西 哲司

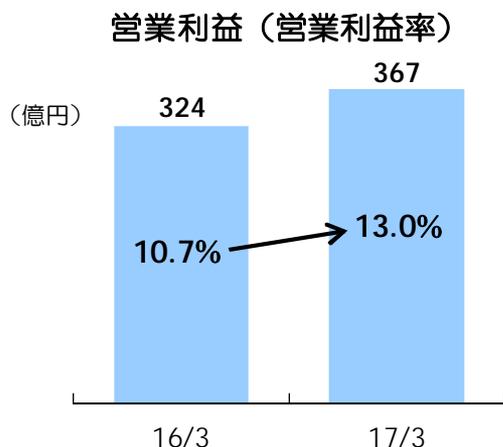
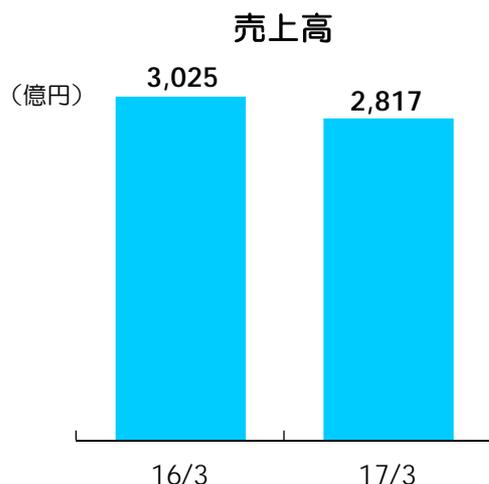
2017年3月期 上半期決算のポイント

- ◆売上高は前年同期比1.4%減、営業利益は2.9%減
当期純利益は前年同期比で3.8%増益
- ◆受動部品は、高周波部品の収益改善が牽引し前年同期比で増益
半期及び四半期ベースで営業利益は過去最高
- ◆二次電池は、中国スマホ向け販売拡大により前年同期比で増収増益
半期ベースで営業利益は過去最高
- ◆HDD市場は、期初予測の前年比10%減から、若干上回る見通し
(前期4.44億台→期初4.0億台→今回4.1億台)

2017年3月期 上半期連結業績概要

| (億円) | 2016年3月期 第2四半期累計実績 (2015.4.1~2015.9.30) | 2017年3月期 第2四半期累計実績 (2016.4.1~2016.9.30) | 対前年同期比 | |
|-----------------|---|---|--------|----------|
| | | | 増減 | 増減率 (%) |
| 売上高 | 5,876 | 5,792 | △ 84 | -1.4 |
| 営業利益 | 456 | 443 | △ 13 | -2.9 |
| 営業利益率 | 7.8% | 7.6% | -0.2pt | - |
| 税引前利益 | 441 | 443 | 2 | 0.5 |
| 当期純利益 | 315 | 327 | 12 | 3.8 |
| 1株当たり利益 (円) | 249.69 | 259.01 | - | - |
| 為替 | 対ドルレート (円) | 121.80 | 105.41 | 13.5%の円高 |
| | 対ユーロレート (円) | 135.11 | 118.36 | 12.4%の円高 |
| 為替変動による 影響金額 | 売上高：約857億円の減収 営業利益：約181億円の減益 | | | |

上半期各事業の状況（受動部品事業）



売上高 2,817億円（前年同期比6.9%減）
 営業利益 367億円（前年同期比13.3%増）

●セラミックコンデンサ

- ・売上は前年同期比で減少。
- ・自動車市場向け販売が増加。ICT市場及び産業機器市場向け販売は減少。

●インダクティブデバイス

- ・売上は前年同期比で減少。
- ・自動車市場向け販売が増加。ICT市場向け販売は減少。

●高周波部品

- ・売上は前年同期比で増加。
- ・ディスクリート製品及びダイバーシティモジュール販売増。
- ・利益率も前年同期比で向上。

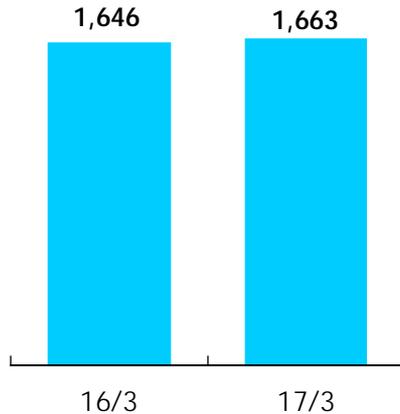
●圧電材料部品

- ・売上は前年同期比で減少。
- ・中国スマホ向けVCM・OISは堅調。

上半期各事業の状況（磁気応用製品事業）

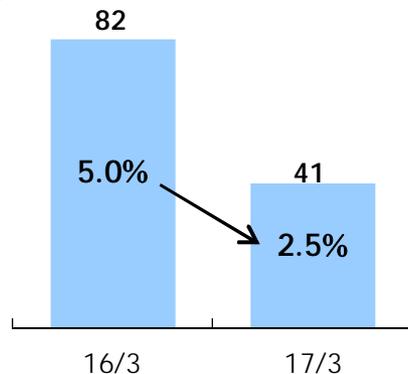
売上高

(億円)



営業利益（営業利益率）

(億円)



売上高 1,663億円（前年同期比1.0%増）
 営業利益 41億円（前年同期比50.0%減）

●HDDヘッド

- ・売上は前年同期比で増加。
- ・HDD市場が低調な中、HDDヘッドの販売は期初想定より堅調に推移。

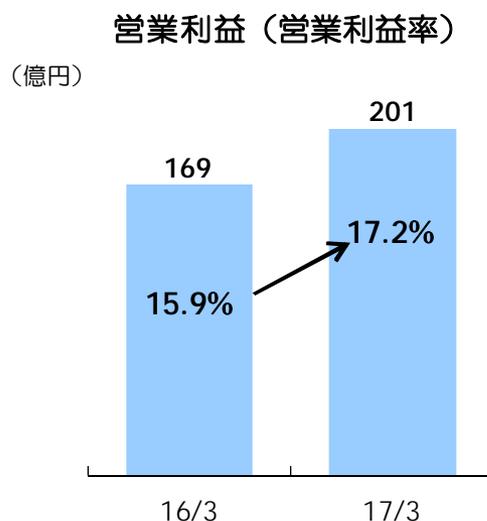
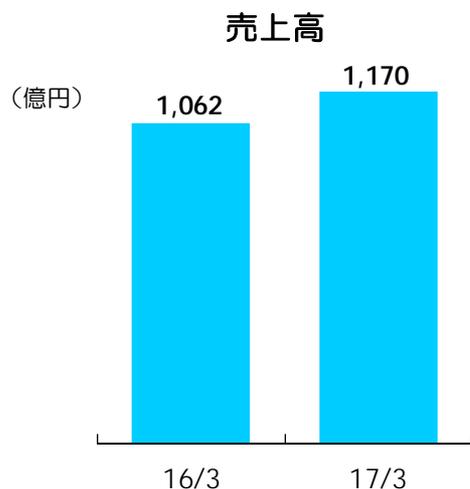
●マグネット

- ・売上は前年同期比で減少。
- ・HDD向け販売が減少。

●電源

- ・売上は前年同期比で減少。
- ・産業機器市場向け販売が減少。

上半期各事業の状況（フィルム応用製品事業）



売上高 1,170億円（前年同期比10.2%増）
 営業利益 201億円（前年同期比18.9%増）

●エナジーデバイス（二次電池）

- ・売上は前年同期比で増加。
- ・スマートフォン向けの販売が大幅に増加。
- ・スマートフォン以外の新規アプリケーション向けの販売も堅調に推移。
- ・利益率も前年同期比で向上。

セグメント別四半期実績

| | (億円) | 2016年3月期 | 2017年3月期 | 2017年3月期 | 対前年同期比増減 | | 対直前四半期増減 | |
|-------|-------------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|------------|-------------|
| | | 第2四半期 (A) | 第1四半期 (B) | 第2四半期 (C) | (C) - (A) | (C) - (A) | (C) - (B) | (C) - (B) |
| | | | | | 増減 | 増減率 (%) | 増減 | 増減率 (%) |
| 売上高 | コンデンサ | 395 | 344 | 337 | △ 58 | △ 14.7 | △ 7 | △ 2.0 |
| | インダクティブデバイス | 402 | 357 | 355 | △ 47 | △ 11.7 | △ 2 | △ 0.6 |
| | その他受動部品 | 726 | 676 | 748 | 22 | 3.0 | 72 | 10.7 |
| | 受動部品合計 | 1,522 | 1,377 | 1,440 | △ 82 | △ 5.4 | 63 | 4.6 |
| | 記録デバイス | 607 | 610 | 623 | 16 | 2.6 | 13 | 2.1 |
| | その他磁気応用製品 | 246 | 214 | 216 | △ 30 | △ 12.2 | 2 | 0.9 |
| | 磁気応用製品合計 | 853 | 824 | 839 | △ 14 | △ 1.6 | 15 | 1.8 |
| | フィルム応用製品合計 | 633 | 518 | 652 | 19 | 3.0 | 134 | 25.9 |
| | その他 | 73 | 69 | 73 | 0 | 0.0 | 4 | 5.8 |
| | 合計 | 3,081 | 2,788 | 3,004 | △ 77 | △ 2.5 | 216 | 7.7 |
| 営業利益 | 受動部品 | 174 | 160 | 207 | 33 | 19.0 | 47 | 29.4 |
| | 磁気応用製品 | 45 | 17 | 24 | △ 21 | △ 46.7 | 7 | 41.2 |
| | フィルム応用製品 | 118 | 71 | 130 | 12 | 10.2 | 59 | 83.1 |
| | その他 | 1 | △ 14 | △ 20 | △ 21 | - | △ 6 | 42.9 |
| | 小計 | 337 | 234 | 341 | 4 | 1.2 | 107 | 45.7 |
| | 全社および消去 | △ 63 | △ 69 | △ 63 | 0 | - | 6 | - |
| | 合計 | 274 | 165 | 278 | 4 | 1.5 | 113 | 68.5 |
| 営業利益率 | 8.9% | 5.9% | 9.3% | +0.4pt | - | +3.4pt | - | |
| 為替 | 対ドルレート (円) | 122.31 | 108.37 | 102.47 | | | | |
| | 対ユーロレート (円) | 136.06 | 122.41 | 114.36 | | | | |

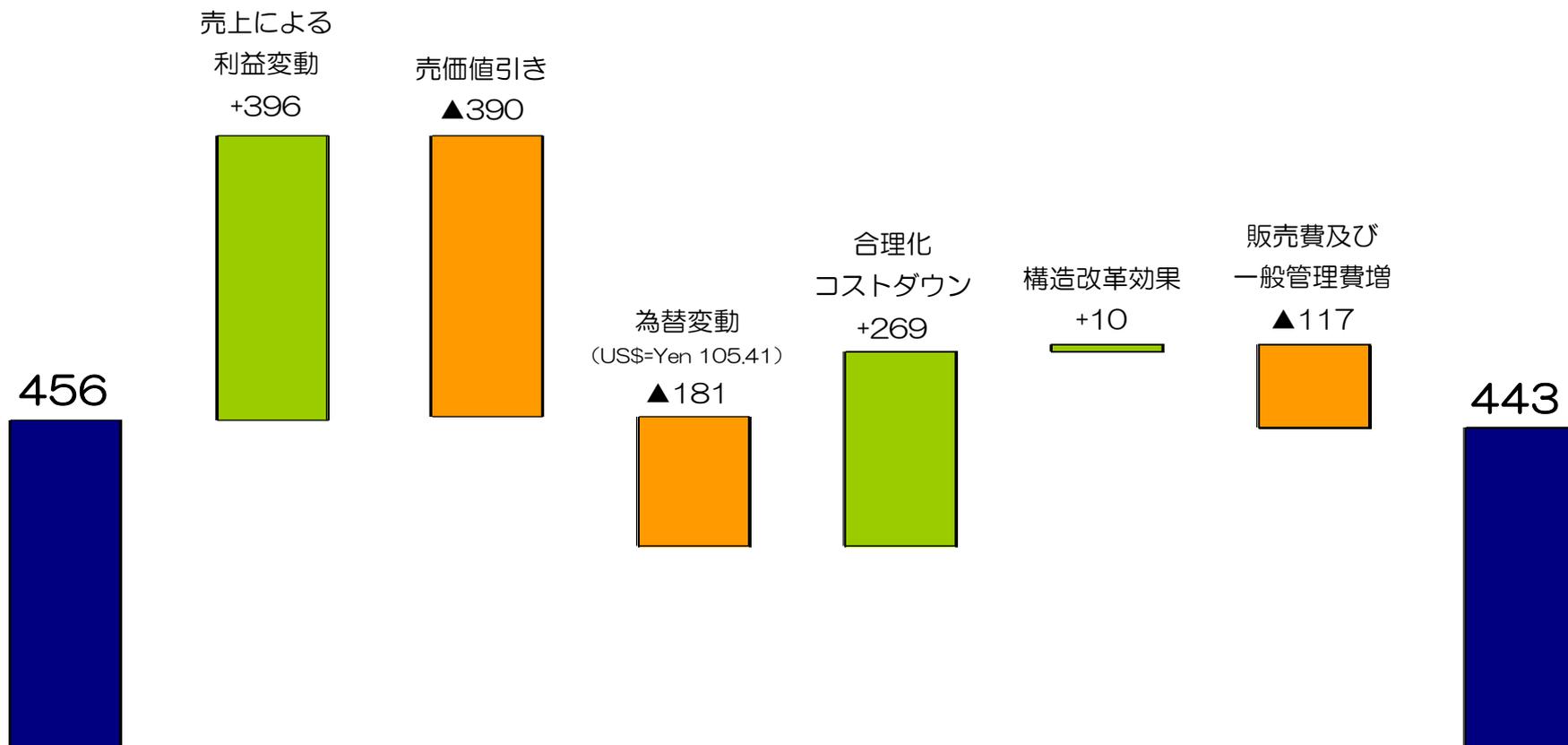
営業利益増減分析

2016年3月期
上半期
456億円

営業利益 ▲13億円

2017年3月期
上半期
443億円

(単位：億円)



2017年3月期 第2四半期連結業績概要

| (億円) | 2016年3月期 第2四半期実績 | 2017年3月期 第2四半期実績 | 対前年同期比 | |
|-----------------|---------------------------------|---------------------|--------|----------|
| | | | 増減 | 増減率 (%) |
| 売上高 | 3,081 | 3,004 | △ 77 | -2.5 |
| 営業利益 | 274 | 278 | 4 | 1.5 |
| 営業利益率 | 8.9% | 9.3% | +0.4pt | - |
| 税引前利益 | 251 | 279 | 28 | 11.2 |
| 当期純利益 | 184 | 203 | 19 | 10.3 |
| 1株当たり利益 | 145.72 | 160.71 | - | - |
| 為替 | 対ドルレート (円) | 122.31 | 102.47 | 16.2%の円高 |
| | 対ユーロレート (円) | 136.06 | 114.36 | 15.9%の円高 |
| 為替変動による 影響金額 | 売上高：約538億円の減収 営業利益：約122億円の減益 | | | |

将来に関する記述についての注意事項

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2017/2q_1.htm